

2021年 2月 浜松聖書集会のご案内

(時間：午前10時～正午)

- 2月 7日 (日) 集会 (アクト研修交流センター36セミナー室)
司会：武井 めぐみ 感話：伊藤 純子
聖書講話：マルコによる福音書 7章24～37 節
「二つの癒しーイエスの思い」 水戸 潔

- 2月14日 (日) 集会 (アクト研修交流センター36セミナー室)
司会：大手 美千代
聖書講話：イザヤ書44章24節～45章25節
「キュロスにより成就させる 私が神、他にはいない」 武井 陽一

- 2月28日 (日) 集会 (クリエート浜松 22号室)
司会：溝口 春江
聖書講話：マルコによる福音書 8章1～26節
「4千人の供食とヘロデのパン種」 水戸 潔

・・・通 信・・・

- 日本キリスト者医科連盟静岡部会・デンマーク牧場福祉会 共催による講演会のお知らせ

場所： デンマーク牧場 新霊山教会
日時： 2月27日(土) 13時30分から 16時頃まで
内容： 「ホットスポットで垣間見たことと」
講師： 内藤 新吾氏 (日本福音ルーテル稔台教会 牧師)

唯ひとつの営み

竹内 英子

鋭い刃物のように 空気を切り裂く
きびしい冬の寒気

あふれるように降り注ぐ
やわらかな春の光

真実を求める心は
愛ふかく清らかに 平和の中に生きようとする

移りゆく季節の動き 人の歩み すべてのことは
唯ひとつの 神の聖なるみ心に従う 生命のいとなみ

二百号の感謝

溝口 正

…復活誌にとって起筆大書すべきことがある。それは1980年1月の第174号から竹内英子さんの詩が巻頭を飾るようになったことである。彼女は多発性リウマチのため、約五十年間もベッドに寝たままの婦人である。私はかねてから彼女の詩の中に秘む主イエスへの深い信頼、解放された心の自由さ、一点に凝集された作詩態度などに強く心をひかれていたので、復活誌への寄稿をお願いしたところ、不自由で苦痛の多い病床から毎月原稿を送り届けてくださるのである。多くの読者が竹内さんの詩を愛読し、慰めと力を得ていてくださることを知るにつけても、二百号に当り英子さんに心からの感謝をささげたい。巻頭にこの詩が掲げられているだけでも復活誌は発行される価値があると、ひそかに私は確信している。この意味で復活誌は今や彼女と私の共同の手紙となったと言ってもよい。